

報道機関各位

株式会社 デ コ ス

日本初！

経済産業省「カーボンフットプリントを活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に採択された建築用断熱材、「デコスファイバー」

2012年12月5日、株式会社デコス(代表取締役:安成信次、山口県下関市)は建築用断熱材として日本で初めて、経済産業省及び関係省庁が推進する「カーボンフットプリント(CFP)を活用したカーボン・オフセット製品」試行事業に採択されました。

これは、「デコスファイバー」の算定CFP値と同量のクレジットによりカーボン・オフセットを実施することで、製品のライフサイクルでのCO2排出量が実質的にゼロであることを示すラベルを製品へ貼付するものです。カーボン・オフセットに使用するクレジットは弊社の親会社である安成工務店(山口県下関市)の取引先で、林業を営む株式会社トライ・ウッド(大分県日田市上津江町)による間伐推進プロジェクトから創出されるJ-VERクレジット(森林吸収系)を利用する予定です。

「デコスファイバー」は、主原料にリサイクル材である新聞紙を使用し、生産工場の動力エネルギーはすべて電力を使用しています。

また、輸送手段にモーダルシフト(JR貨物)を積極的に活用するなど、ライフサイクルCO2の排出量削減に取組みながら生産しています。

今回の採択を機に3社協働による「省CO2で心地よい木造建築」をコンセプトとした地域循環型・健康・省エネルギー化を図り、人にも地球にもやさしい取組みをさらに推進することとなりました。

今後、クレジット購入量に応じた「デコスファイバー」にカーボン・オフセット製品マークを表示することで、建築用断熱材分野における省CO2排出の意識向上と、「実質排出ゼロ・カーボン断熱材」を活かした木造建築により低炭素社会へさらなる貢献を目指します。



「カーボン・オフセット製品」ラベル

●カーボンフットプリント(CFP)とは？

商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO2量に換算して、当該商品・サービス等の単位で分かりやすく表示する仕組み。

●カーボン・オフセットとは？

カーボン・オフセットとは、個人・企業などが排出する温室効果ガス排出量のうち、自らの削減努力ではどうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することを言う。

●デコスファイバーとは？

新聞紙をリサイクルした木質繊維系の建築用断熱材「セルロースファイバー」。
吹込み用繊維質断熱材JIS A 9523 認証品で、日本初のCFP制度認定建築用断熱材。
デコスファイバー1袋(15kg)あたりのCFP算定結果は11.9kg。

●クレジットとは？

「他の場所でのCO2吸収量や削減量」のことを「クレジット」と呼び、通常は有価で取引される。

●J-VERとは？

カーボン・オフセットに用いられることを主眼に、国内における温室効果ガス排出削減・吸収量をクレジットとして認証・発行する制度。環境省が策定した認証基準に従い、オフセット・クレジット認証運営委員会により、オフセット・クレジット(J-VER)が認証・発行される。

●株式会社 安成工務店

山口県下関市に本社を置く建設会社。

住宅の分野では平成元年から、パッシブシステムである「OMソーラーハウス」に取組み、環境共生住宅のジャンルで住宅づくりを行っている。

創業以来61年間で約3,500棟の木造住宅を手掛けており(その中で1,000棟が環境共生住宅)、17年前から林産地と連携した国産材の「木の家」を手掛けている。

現在では年間に約120棟の住宅を躯体レベルで一次消費エネルギー約40GJ~50GJと一般の住宅の約4割減の温熱性能を持ち、全棟セルロースファイバー断熱材(デコスドライ工法)を採用した近県産の木の家として供給している。

他に建築分野では土地活用を中心とした創注型の建設業を展開している。平成24年売上高 約80億円。

●株式会社 トライ・ウッド

大分県日田市上津江町の総合林業会社。日田市出資の第3セクター。

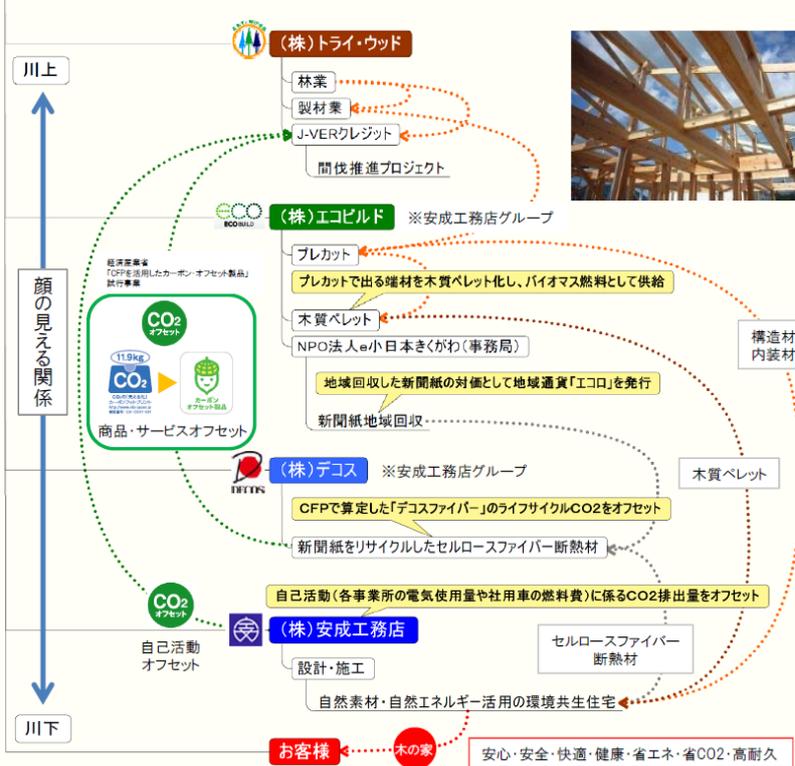
「後世に残そう かけがえのない森林(みどり)を」を設立以来スローガンに掲げ、育林事業・製材事業・積層材集成材等木材加工事業・J-VERクレジットなどの多岐に渡る事業に取り組む。

平成8年から、安成工務店を中心とした地域型・自然素材型住宅をつくる工務店群と連携を深め、林産地連携型の家づくりネットワークを展開している。

天然乾燥「輪掛け乾燥」を九州大学と開発し年間5,000m3を自然乾燥で行う他、新たな減圧乾燥システムを構築中。全国的にみても例のない第3セクター林業会社の成功モデルである。

概要図

近くの山の木でつくる、省CO2で心地よい木の家プロジェクト



◆プロジェクトのポイント

- 林業～プレカット～断熱材～工務店が関わる省CO2木の家のプロジェクト
- 川上から川下まで、お客様を含めた「顔の見える関係」を構築（エコビルドツアー・森林体験バスツアー）
- 小さな地域循環を連鎖
- 環境啓蒙活動を継続的に実施
- クレジット購入で森林保全を支援



◆プロジェクトのねらいと効果

- 省CO2に配慮した心地よい「木の家」づくり
- 工務店・断熱材メーカーがクレジット購入を通じて森林保全を支援
- 川上から川下まで、環境をキーワードにそれぞれの立場でCO2削減を実施
- 木材とJ-VERクレジットの地産地消推進
- 地域循環と環境教育を結びつけたネットワークの形成(NPO等)

環境啓蒙活動

● エコビルドツアー



新聞紙をリサイクルしてつくる断熱材、産地表示を明確にした「近くの山の木」の化粧構造材プレカット加工、工場で排出されたおがくずや端材からつくる木質ペレットの設備や、ペレットストーブを設置し、施設全体で省CO2の取組みを検証します。そして、「地域資源の循環・有効活用」に向けて何が出来るか、これからもお客様とともに取組んでいきたいと考えています。



※「そーれきくがわ(エコビルドプレカット工場・デコス工場・トライ・ウッド津江杉構造館)からなる総合施設」 「そーれきくがわ」の「そーれ」はイタリア語で「太陽」を意味しています。太陽が地球に恵みをもたらすように、お客様や従業員に喜びをもたらす存在でありたい。そして、建築と環境、地域循環の分野で、新たな解決策を地方から発信したい。そんな願いをこめています。

●会社概要

商 号 :株式会社 デコス
代表取締役 :安成信次
本 社 :〒751-0851 山口県下関市熊野西町 6-13
TEL 083-255-2020 FAX 083-255-2010
工 場 :〒750-0313 山口県下関市菊川町田部 155-7
TEL 083-288-0300 FAX 083-288-0310
営 業 所 :〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F
TEL 03-3516-8056 FAX 03-3272-2753
資 本 金 :3,000 万円
設 立 :昭和 49 年 8 月 30 日
そ の 他 :第 3 回エコプロダクツ大賞 審査委員長特別賞受賞
セルロースファイバー断熱材製造 新 JIS 認証取得 認証番号 TC0607016
エコマーク認定 認定番号 07123006
平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(技術部門)受賞
平成 22 年度モーダルシフト優良荷主表彰
平成 23 年 経済産業省カーボンフットプリント制度 建築用断熱材認定
日本セルロースファイバー断熱施工協会 事務局
※施工技術者研修や施工技術者認定などを行う。施工代理店が加盟。
日本セルローズファイバー工業会 事務局
※セルロースファイバー国内製造メーカー4 社(王子製袋(株)、日本製紙木材(株)、
(株)デコス、吉水商事(株))が加盟。断熱建材協議会の構成団体。

デコス HP :<http://www.decos.co.jp>

日本セルロースファイバー断熱施工協会 HP:<http://www.cf-eco.jp>



●お問合せ先

株式会社 デコス 断熱事業部 東京営業所
C02担当 田所憲一
TEL : 03-3516-8056 FAX : 03-3272-2753
Mobil:080-6408-4266 E-mail : k-tadokoro@decos.co.jp